

(報告書様式 C)

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	愛 知 県
-------	-------

学校の概要 (平成 1 5 年 4 月現在)

学校名	知多郡武豊町立武豊小学校								
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	3	3	3	3	2	2 1	
児童数	9 7	1 2 8	1 1 0	1 0 5	1 1 7	1 1 0	8	6 7 5	2 9

研究の概要

1 . 研究主題

基礎・基本の定着と学力の向上をめざして
～ 学習指導体制の工夫を通して～

2 . 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・ 3 ～ 6 年生・算数
児童の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p>テーマ 基礎・基本の定着と学力の向上をめざして —— 学習指導体制の工夫を通して ——</p> <p>研究仮説 算数において、単元ごとに習熟度別のクラス編成をし、それぞれの習熟度 に合った授業構成で指導をすれば、算数の理解が高まり、基礎的・基本的 内容の定着がはかれるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 算数習熟度別少人数学習「ゆめたろう学習」 くりかえしドリル学習「はげみタイム」 国語・授業改善「読む力を定着させる授業」</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 基礎・基本の定着と学力の向上をめざして —— 学習指導体制の工夫を通して ——</p> <p>研究仮説 算数において、単元ごとに習熟度別のクラス編成をし、それぞれの習熟度に合 った授業構成で工夫された教材・教具を用いて 指導をすれば、算数の理解が 高まり、基礎的・基本的内容の定着がはかれるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 算数習熟度別少人数学習「ゆめたろう学習」 くりかえしドリル学習「はげみタイム」 国語・授業改善「読む力を定着させる授業」</p>
----------------	--

(3) 研究推進体制

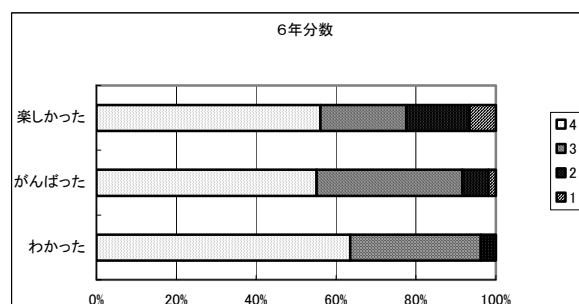
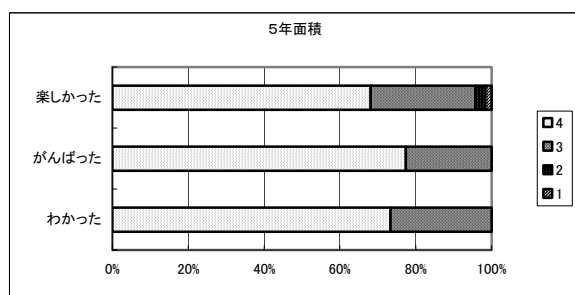
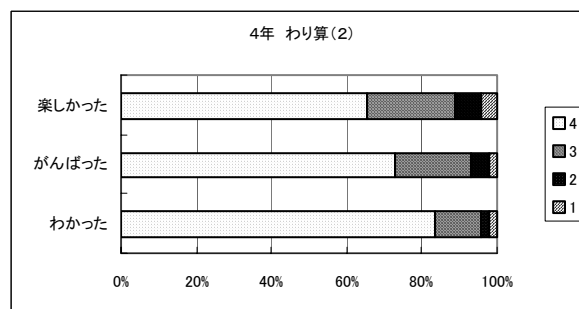
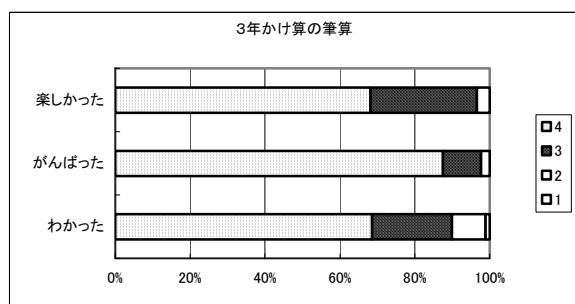
5月から3年生以上の算数で学級を単に2分割した少人数指導の授業形態をとった。人数が少なくなって、子どもの理解度を把握しやすくなったという教師の声や、よくあててもらえるようになってうれしいという子どもたちの声が聞こえる一方、人数が少なくなっても、なお存在する習熟度の差への対応の難しさが大きな課題となった。そこで、2学期から習熟度別学習に取り組むこととし、この授業形態を「ゆめたろう学習」と名付けた。算数の時間は、学年の全クラスを同時限に設定した時間割編成をした。担任、フロンティアティーチャー、TT加配教師、非常勤講師、校務主任、教務主任、教頭が指導に入り、常時、教師6人体制でゆめたろう学習がすすめられるようにした。漢字と計算の定着を図るために、朝の始業前の10分間をドリル学習の時間とし、「はげみタイム」と名付けた。日課表に位置づけ、全校一斉に行っている。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

毎時間ごとに振り返りカードを使って授業の自己評価をさせた。この振り返りカードの自己評価を分析した結果、どの学年も「わかった」「がんばった」「楽しかった」と感じる子どもの割合が多く、次のグラフのようにゆめたろう学習はたいへん好評であることがわかった。

4 すごく 3 よい 2 もう少し 1 だめ



ゆめたろう学習では、各教師が指導法や子どもの様子を真剣に話し合う姿がよくみられるようになった。

はげみタイムでは、漢字先取り学習を取り入れて、くり返し学習をする形態を取り入れた結果、以前より漢字の定着率が高いという担任の声が聞かれるようになった。また、計算ドリルをくりかえし行った結果、月日がたっても、以前に学習した単元の計算を忘れないことができ、計算力の積み上げに効果が出ている。

算数は、方眼ノートを用い、筆算などにも必ず定規を使ったり、数字をそろえて書くなど、共通理解のもとにノートの工夫や指導をしてきた。その結果ノートが見やすくなって児童の計算ミスが少なくなったり、教師の机間指導の能率が上がったりするなど、学習効果が上がってきた。また、玉手箱コースでは、児童机を教卓を中心に扇形に配置した結果、個別指導がたいへんしやすくなった。

2. 今後の課題

ゆめたろう学習では、習熟度にあった指導法をさらに工夫し、子どもの学力を最大限にのばせるような単元の流れや授業構成を考えていく。そのための教具、教材も同時に開発していかなければならない。

はげみタイムでは、漢字定着の度合いをはかる客観的な評価方法を考え、成果を検証したい。また、各学年で使っているプリントの成果を話し合い、より有効な教材内容と、より習熟がはかれる使い方を求めて検討を重ねる必要がある。

ノートや座席の工夫について研究し、指導に力を入れていく。

学力等把握のための学校としての取組

児童の学力把握のために毎年4月初めに国語と算数について2年生から6年生で教研式学力検査を実施している。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

フロンティアティーチャーとして、次のように研究成果の普及に努めた。

平成16年1月20日 武豊町立中央公民館
知多教育事務所管内の全教務主任を対象にした教務主任研修会にて、フロンティアスクールとしての研究成果を発表し、質疑応答を受けた。

平成16年2月23日 武豊町立武豊小学校
武豊町全職員対象にした現職教育報告会にてフロンティアスクールとしての研究成果を、質疑応答を受けた。

フロンティアだよりを2ヶ月に1度の割合で発行し、保護者や町内の小中学校に配布して、研究の進展や児童の様子などを伝え、成果の普及に努めた。
本校のHPにフロンティアのページを設け、本校の研究に関する情報を提供している。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|--|--|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input checked="" type="checkbox"/> 6学級以下
<input type="checkbox"/> 13～18学級
<input type="checkbox"/> 25学級以上 | <input type="checkbox"/> 7～12学級
<input checked="" type="checkbox"/> 19～24学級 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導
一部教科担任制 | <input type="checkbox"/> T・Tによる指導
その他 | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語
生活
体育 | <input type="checkbox"/> 社会
音楽
その他 | <input type="checkbox"/> 算数
図画工作 | <input type="checkbox"/> 理科
家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | | |